

# ご投稿・ご執筆のために

## 1. PDA Journal of GMP and Validation in Japan について

日本 PDA 製薬学会の発足以来、本会の年会、シンポジウム、International Congress などにおいて、GMP、バリデーション等に関して有意義な内容をもつ演題が多数発表されてまいりました。これらの内容を公式なものとしてとどめ、また新たな論文を投稿できる学術誌が『PDA Journal of GMP and Validation in Japan』です。この学術誌の刊行により本会の活動がより高度化することが期待され、また学術団体として公的に認められるためには学術誌の発行が必須の要件です。会員各位の積極的な投稿をお待ちしております。

## 2. 投稿論文の種類

投稿できる論文は以下のとおりとする。

**一般論文 (Regular Article)**：独創的研究により得られた有意義な新知見を含むものでなければならない。冗長にならない限り、論文の長さには制限はない。内容には、緒言 (Introduction)、理論・目的 (Theoretical)、結果 (Result)、考察 (Discussion) を含む。

**研究ノート (Note)**：断片的な研究であっても、新しい事実や価値あるデータを含むものでなければならない。刷上りの長さは3ページ以内とするが、編集委員会が認めたときはこの限りではない。

**技術報告 (Technical Report)、資料 (Data)**：すでに確立された方法を用い、多くの資料などについて得られた結果で、本誌の目的に合致するものでなければならない。刷上りの長さは5ページ以内とするが、編集委員会が認めたときはこの限りではない。

以上の原稿には、英文要旨 (250 語以内) と英語による3~6語の keyword をつける。

**寄書 (Communication to the Editor)、提案 (Proposal)**：本会の目的に沿った内容であって、会員に対して有意義な内容とする。

**紹介 (News)**：新技術、規則・標準、内外の関係団体の動向などに関する情報

**総説 (Review)、解説 (Topics Review)**：新技術、規則・標準、内外の関係団体の動向などに関するまとまった論文を編集委員会から要請することがあるが、会員一般からの投稿も可能である。英文要旨 (250 語以内) と英語による3~6語の keyword をつける。

**書評 (Book Review)**：会員の参考となるような書籍を評価・紹介したもの。刷り上がりの長さは2ページ以内とする。

## 3. 投稿者の資格

3.1 投稿原稿の著者 (連名の場合は1名以上) は、**本会会員**でなければならない。ただし、編集委員会において会員以外に投稿を依頼することがある。

3.2 投稿論文の内容は、他の出版物 (国の内外を問わず) にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。

3.3 投稿原稿の採否は、2名以上の審査員による審査を経た後、編集委員会が決定する。

## 4. 投稿論文の作成要領

### 4.1 本文

4.1.1 投稿論文の言語は、和文および英文とする。

4.1.2 和文投稿論文の図・表およびそのタイトルとその説明は英語とする。

4.1.3 一般論文、研究ノート、技術報告には別紙として英文要旨をつけなければならない。英文要旨には当論文で著者が強調したい点を含め、目的、方法、結果 (重要な数値は入れること) を総括したもので、本文と離れても十分理解できるものでなければならない。

4.1.4 一般論文 (Regular Article) は冗長にならない限り、分量に制限はない。

4.1.5 投稿原稿の表紙に論文題名、著者名、所属機関名およびその住所を和文原稿は和文で、英文原稿は英文で併記し、講演発表したものはその旨注記する。

4.1.6 章, 節, 項には, 1., 1.1., 1.1.1. の順で見出しをつける。

4.1.7 度量衡単位は SI 単位とする (m, cm, mm, cm<sup>2</sup>, l dl, ml kg, g, mg, μm, h, min, s, ms など)。

## 4.2 図・表

4.2.2 図・表 (写真は図の扱いとする) は別紙とし, 図の表題は別紙にまとめてそれぞれ通し番号 (図 1) をつける。図・表の掲載位置は, およその場所を本文中の右欄外に図 1, 表 1 のように朱記する。

4.2.3 図はそのまま製版できるように作図する。編集部においてトレースの作製を要した場合の実費は著者負担とする。

4.2.4 表の縦罫は原則として省き, 横罫もできる限り省略する。表題は表の上に, 注は表の下に記載する。

## 4.3 引用文献

4.3.1 引用文献は本文中に番号で場所を指示し, 原稿の末尾につきの要領でまとめて記載する。

4.3.2 共著者はその氏名をすべて記載する。

(記載例)

### a) 雑誌の場合

Okamura K: Clinical application of medium-calorie PPN for surgical patients. JJPEN 17: 19-23, 1995 (in Japanese)

### b) 単行本の場合

Duma RJ, Akers MJ, Turco SJ: Pharmaceutical dosage forms, parenteral medications, Volume 1. 2nd ed, ed by Avis KE, Lieberman HA, Lachman L, Marcel Dekker, Inc., New York, 1992, 17-58

## 5. 著者校正

5.1 著者校正は 1 回とする。

5.2 校正の返送が期日までになされない場合は, 編集者の校正をもって校了とする。

5.3 著者校正は, 誤植以外の追加や書き改めは原則として認めないが, 編集委員会が認めた場合はこの限りでない。ただし, それによって本会が被る損害の補償が投稿者に要求される。

## 6. 別刷

6.1 著者は自身の論文の別刷を作成することができる。

6.2 別刷作成の料金は, 著者の実費負担とする。

## 7. 著作権, 二重投稿の禁止

7.1 会員は, 本誌に掲載する著作物またはこれを原著作物とする二次的著作物の著作権およびこれら著作物の翻訳, 翻案の権利を, 信託財産として日本 PDA 製薬学会に移転するものとする。

7.2 会員は, 上記各著作物を他の学会誌, 学術誌等に投稿 (二重投稿) してはならない。また, 他の原著論文誌に掲載済み, または投稿中の論文と同一の内容の論文を投稿してはならない。

## 8. 投稿手続き

8.1 別掲の投稿票を添付し, 原稿データを下記あてにメールで送付する。

### ●送付先および問合せ先

小宮山印刷工業株式会社 仙台営業所 (KOPAS) 内 日本 PDA 製薬学会 学術誌編集担当

E-mail : edit-jpda@sendai.kopas.co.jp Tel : 022-727-1760